

「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2021」
新型コロナ感染対策マニュアル

NHKエンタープライズ ロボコン事務局

高専ロボコン事務局では、10月10日から行われる「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2021」地区大会・全国大会当日及びその準備期間において、新型コロナウイルスの感染予防対策として以下の通りマニュアルを定めます。なお、このマニュアルはNHK制作局が定めた「制作局新型コロナ対策共通制作マニュアル」(2020年6月4日版)に基づき作成しました。感染予防対策を徹底し、出場チーム・出演者・スタッフが安心して参加できるイベントにするため、ご協力をよろしくお願いいたします。

【基本原則の徹底】

- 出場チーム(チーム関係者含む)・出演者・スタッフの感染予防対策(毎日検温・マスクの着用・手洗い・手指消毒など)
- 可能な限り感染リスクの小さな手法を追求する
- イベント本番・収録・準備すべてのプロセスで“3密回避”を徹底する
 - ▼チーム、出演者、スタッフの人数の最小化(“密集”の回避)
 - ▼ソーシャルディスタンス(“密接”の回避)
…人との距離は、2mの確保に努め、少なくとも常に1m以上を確保する
 - ▼換気をスケジュール化(“密閉”の回避)
- スケジュールの最短化
- 作業エリアにおける消毒対策の実施
- 会場入り口では土足消毒を行うとともに、下足はビニール袋に入れ各チームがピットで管理する。
- 出場チーム、出演者が来場しての出演・収録は、事前に主催者側の対策を説明。本人や必要な関係者の同意を得る。その際、主催者の都合を無理強いすることがないように十分配慮する
- 県を超えての取材・収録は、取材先・出演者の同意のもと、当該地域局に必ず事前に連絡、相談する
感染防止対策を徹底、必要最低限の範囲であることを上司が確認のうえ実施する
- 業務時間外でも、専門家会議が示した「新しい生活様式」を参考に感染対策の基本を徹底し、“自らも感染しない”、“感染を広めない”よう努める 例:すれ違う時は距離を取る。会話は控えめに
- 各地の状況に応じて最善の方法を検討する

【具体的な施策】

1. 出場チーム、出演者、スタッフの健康確認

○すべての出場チーム、出演者、スタッフは、大会設営開始日の10日前から毎日検温をし、体調に異常がないことを確認してから大会・準備に参加する。

○出場チーム、出演者には、出演(出場)依頼時・出演(出場)時に発熱などの新型コロナウイルス感染症を疑わせる症状がないことを確認する。万一、体調に異常がある場合は出演(出場)を見合わせる。

2. 大会会場での対策

○換気の確保と会場ごとの使用可能人数

換気目安…二酸化炭素濃度計を使用し、常にCO₂ 濃度が1,000ppmを超えないよう監視を続ける。(厚生労働省の換気についての資料「室内の二酸化炭素濃度を1,000ppmに維持することは、1人あたりの換気量として毎時約30m³を確保することに相当する」) このため、CO₂ 濃度が 800ppmを超えた場合にはイベント・競技を一時休止し、強制換気を行う。濃度計は競技フィールド周辺とピット内の2か所に設置する。

使用可能人数の目安…会場面積からの算出人数(一人当たり3m³)を使用可能人数とする。また、会場への入場は最大で使用可能人数の80%までとする。

大会名	施設名称1	施設名称2	床面積	使用可能人数
北海道地区大会	函館工業高等専門学校	第1体育館	855 m ²	285 人
		武道場	357 m ²	119 人
東北地区大会	仙台高専名取キャンパス	第1体育館	867 m ²	289 人
		第2体育館	795 m ²	265 人
関東甲信越地区大会	エスフォルタアリーナ八王子	メインアリーナ	2,700 m ²	900 人
東海北陸地区大会	鯖江市総合体育館	第1 競技場	1,584 m ²	528 人
		第2 競技場	341 m ²	113 人
近畿地区大会	明石工業高等専門学校体育館	体育館	1,300 m ²	433 人
		剣道場	242 m ²	80 人
中国地区大会	バタフライアリーナ(柳井市体育館)	主競技場	1,450 m ²	483 人
四国地区大会	香川高等専門学校詫間キャンパス	第1体育館	724 m ²	241 人
		第2体育館	787 m ²	262 人
九州沖縄地区大会	北九州学術研究都市体育館	アリーナ	1,491 m ²	497 人

ドアなどの開放…約1時間につき10分程度を目安に換気をスケジュール化する。

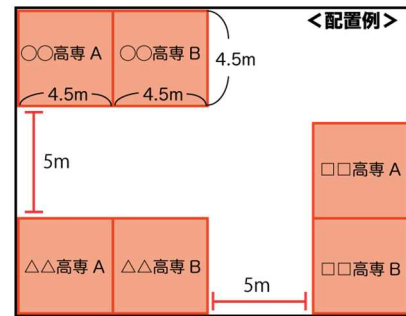
機械換気に加えてドアを開放するなどの対策も行い、換気機械の万が一のトラブルや想定できない空気のごみなどを解消する。

また、ドアなどの開放による換気はサーキュレーター等を併用することで空気の流れをつくり、可能な限り効率化を図る。ドア開放中も冷房は切らないなど、ドアの開放と熱中症対策とのバランスを

取りながら行う。

○チーム同士の距離を保つためのピット配置

- …会場内のロボット移動の導線が交わらないようにする。
- …1チームごとのチームスペースは4.5m×4.5m確保する。
(他校のピットとの間隔は5m確保する)



○出場チーム、出演者、スタッフとの距離を十分確保

- …出場チーム選手、出演者、カメラマンの間隔は、基本的に2mの確保に努め、少なくとも常に1m以上を確保する。
- …大会会場への入館を最小限にし、カメラ横やモニター前にスタッフの密集を避ける。
- …フィールド周辺、ロボットピット、計量測時にチームやスタッフの密集を避ける。
- …テストランや計量計測の予約のために人が集まらないよう、オンライン受付・管理を行う。
- …状況に応じて有人カメラ台数の削減やモニターの数や位置を工夫する。

○チーム関係者、スタッフの直接接触の回避(受付時など)

- …場外整理は1～2m間隔を目安とした整列(必要に応じて位置マークを設ける)
- …入館時はマスク着用し、アルコール消毒を行う。
- …マスクを持参していない関係者には事務局が用意したマスクを提供する。
- …受付対応の簡略化をはかる。
- …配布物の「直」の受け渡し、現金の授受を避ける。
- …検温はサーモカメラと非接触の体温計で行う。
- …受付時は感染防止ボード越しで会話をおこなう。ボードがない場所ではフェイスシールドも活用する。
- …その他チーム関係者、スタッフ、出演者が直接接触をさける運営方法を確立する。

○スタッフの安全対策の徹底

- …マスク着用の徹底。必要に応じて手袋・フェイスガードの装着
- …受付等の飛沫感染予防対策
- …すべての関係者への検温の徹底
- …健康状態の確認および変調時の確実な申請

○スケジュール

- …準備から本番まで、効率的なスケジュールを作成し、時間で段取りよく行う。
- …リハーサルは、代役など参加する人数を最小にし、短時間で段取りよく行う。
- …美術・モニター・カメラ・音声・進行・LSの各スタッフが順番に作業するなど、3密状態にならないよう作業段取り・スケジュールを精査する。

○マスク着用

- …出場チーム・出演者は、リハーサル時にマスクを着用(本番時チームがどうするかは検討中)
- …スタッフは常に着用、リハーサル、収録時も着用

○消毒

- …消毒剤、マスク、除菌シートなどの準備・携行する。
- …会場入り口に消毒液とマスクの設置スペースを確保・用意する。
- …出演チーム・出演者・スタッフとも、入館時に必ず手指を消毒する。
- …扉・テーブル・イス・美術関連品など手を触れるモノを消毒する。
- …小道具類を出し入れする担当者を決め、不特定多数の人が触れないよう管理する。
- …マイク類・インカムなどは使用前後に技術サイドで消毒し、ジップロックなどに保管。
- …ポットはチームが消毒する。(チーム以外は触れてはいけない)
- …感染対策用品は基本的なものは事務局で用意する。(資料1参照)
- …館内は土足厳禁とする。(上履き持参)

○飲食関連

- …メインアリーナ、ピット内は水分補給以外の食事禁止、モールや廊下等での食事は基本禁止。
- …食事は客席や控室でとる。
- …ペットボトルやポットを共有しない。

○トイレ使用時の注意

- …トイレ使用後は、便座カバーを閉めてから流す。
- …トイレ使用後は、液体石鹼で十分な手洗いを行う。
- …トイレから戻る際は、アルコールで手指の消毒を行う。

3. スタッフ控室、審査員部屋、協賛控室

- …控室等への入室者は最小限とする。
- …控室容積、空調能力、1人あたり必要換気量から算出した最大運用人数を把握しておく。
- …入室スタッフが増える場合は、業務の整理・別室での作業などにより、密状態をさける。

○消毒液とマスクを準備・設置

- …控室内は全員マスク着用、入室前に手指消毒をする。
- …手を触れる箇所、物品はイベント運営・番組制作・技術担当者が共同して使用前後に消毒する。
- …機材は技術担当者が消毒を実施する。

○換気の確保

…換気機器の常時最大稼働。

…入口ドアを基本的には常時開放する。

○飛沫防止の観点から大声はださない。

4. 日々変動する感染状況に対応するために

○リスク確認

…感染対策を講じても十分な対応ができないと判断された場合は主催者の協議のうえ、イベントを中止又は延期とする。

○日々変動する感染状況に対応

…実施地域の感染状況、対処方針などをこまめに確認する。(越県自粛の有無など確認)

…関係各所と通常以上に綿密な情報共有を行う。

…報道発表後でも、実施地域の感染状況等により、主催者の協議のうえ、延期や中止の判断を行うことも常に想定する。

なお、本ガイドラインは、今後の対処方針の変更のほか、新型コロナウイルスの感染の動向や専門家の知見等を踏まえ、随時更新していくものとする。

以上

感染対策用品 ロボコン事務局準備一覧(各地区ごと)

品名	使用場所/使用者	手配数	備考
フェイスシールド	受付関連	5	対応スタッフ用として 
マスク	非所持者用	300	(スタッフ/チーム)
貼りバス (検温チェック用)			(スタッフ/チーム/ゲスト) 
消毒液 (受付用)	各受付	2	
非接触体温測定器	受付 ピット入口など	2	
体温計 (非接触)		4	測定器に引っかかった方に確認用
サーキュレーター①	各控室入口など	10	
サーキュレーター② (大型)		2	
Co2濃度計		2	
ゴム手袋	接触する可能性のあるスタッフ向け	20	
ウェットティッシュ (除菌タイプ)	消毒必要個所用	5	
ウェットティッシュ (除菌タイプ)			各チームに配布セット (61校分)
消毒液			
ゴミ袋			
ロボコンマスク(学生用)			
アクリル板		50	会場 (出演者用等)
クイックルワイパー大モップ	アリーナ用	10	

感染対策用品 各地区担当校準備一覧

品名	使用場所/使用者	手配数	備考
サーキュレーター	各控室入口など	0~10 (買う必要なし)	
消毒液 (各控室用)	各控室入口など	20	
アクリル板		0~20 (買う必要なし)	控室 (出演者用等)
外履きをいれるビニール袋			参加チーム人数分

感染対策用品 参加チーム準備一覧

品名	使用場所/使用者	手配数	備考
マスク		各自	
上履き		各自	